

『経営品質活動』 20 周年

公益財団法人日本生産性本部が推進する「経営品質活動」は、米国マルコム・ボルドリッジ国家品質賞の日本版としてスタートし、今年で 20 周年を迎える。この活動は、経営をサプライサイドからデマンドサイド、つまり顧客の視点からの経営革新を後押しすることで我が国産業の競争力への強化を目的として始まった。

具体的な活動として、1. 「経営革新を推進する人材の育成」、2. 「サービス産業、特に医療・介護業界の生産性向上」、3. 「自治体における経営品質活動」などを推進している。また日本では 24 の地域、グローバルでは 100 以上の国や地域で活動が展開されている。

～「経営品質活動」とは～

1. 『経営革新を推進する人材の育成』

全国にある地域経営品質協議会と連携し、経営革新を推進する人材の育成プログラムを実施している。このプログラムの受講者は、延べ 20 万人を超え、その内「認定セルフアセッサ」
として資格認定された総数は 14,250 人以上に上る。

2. 『サービス産業、特に医療・介護分野での生産性向上の推進』

サービス産業の生産性向上がわが国産業の最重要課題との認識から、近年では医療・介護分野での経営品質活動を重視している。また生命保険、自動車販売、情報サービス、ホテル、レストラン等のサービス産業に経営品質活動が広がっている。

3. 『自治体における経営品質活動の推進』

1998 年から自治体の経営革新に於いても、「行政経営品質活動」が展開されている。これまで、都道府県では、三重県（北川正恭知事）、岩手県（増田寛也知事）、高知県（橋本大二郎知事）、京都府（山田啓二知事）など、政令指定都市では横浜市、京都市、神戸市、川崎市、その他市町村でも活動され、1 自治体が日本経営品質賞を受賞している。

（県知事名は当時）

【問い合わせ先】 公益財団法人 日本生産性本部 経営推進センター（担当：氏家・塩見）
〒150-8307 東京都渋谷区渋谷 3-1-1 Tel : 03-3409-2641 E-Mail : jqa-info@jpc-net.jp
URL : <http://www.jqac.com>

経営品質

検索

1.『経営革新を推進する人材の育成』

経営革新は当事者が自ら取り組むものと考え、セルフアセスメントを最重視している。このセルフアセスメントのスキルを養成するため、人材の育成と認定制度を運用している。

認定セルフアセッサーは、社内の経営革新推進者として活動する他、わが国産業全体の経営品質向上のために審査員として活動している。全国各地で延べ2,500人以上が、第3者の視点で他社の経営課題の抽出と改善提言を行っている。

2.『サービス産業、特に医療・介護分野での生産性向上の推進』

少子高齢化対応、地方創生の必要から、サービス産業、とりわけ医療・介護分野が日本経済にとって重要となっており、「サービス産業生産性協議会」が実施する、JCSI（日本版顧客満足度指数）と連携して、経営品質向上に寄与している。

医療分野では、「日本版医療MB賞クオリティクラブ（Japan Healthcare Quality Club；JHQC）」を設立し、「JHQCクオリティクラス認証」制度を設け運用している。これまで、延べ24組織の医療機関を認証している。

介護分野では2010年から社会福祉懇談会が「経営品質向上活動委員会」を設け活動を展開し、2014年度には1組織が日本経営品質賞を受賞している。

3.『自治体における経営品質活動の推進』

自治体の経営品質活動は、前述の他、板橋区、町田市、松阪市、三鷹市、滝沢村等にも展開され、滝沢村は2006年度に日本経営品質賞を受賞している。

自治体では、「自治体マネジメント実践会議（旧称：行政経営品質研究会）」を設け、この活動を行っている。さらに「自治体トップフォーラム」を毎年開催（延べ20回開催）し、各自治体の首長、議長や幹部が参加して、経営品質の考え方をベースに住民価値向上・地方創生の研究・討議が行われている。

日本経営品質賞について

日本生産性本部が1995年12月に創設した表彰制度である。わが国企業が国際的に競争力のある経営構造へ質的転換をはかるため、顧客の視点から経営を見直し、自己革新を通じて顧客の求める価値を創造し続ける組織の表彰を目的としている。**延べ233組織が申請し、36組織が受賞している。**

2009年度から新設された「経営革新推進賞」・「経営革新奨励賞」を含む表彰組織の総数は延べ51組織である。また地域においても地域経営品質賞制度を有し、延べ286組織が受賞している。

～日本経営品質賞受賞組織一覧～

サービス業

製造業

大手企業

中小企業

受賞組織名	受賞組織名	受賞組織名	受賞組織名
NECフィールディング（株）	日本アイ・ビー・エム（株）	アサヒビール（株）	松下電器産業（株）
滋賀ダイハツ販売（株）	（株）日本総合研究所	セイコーエプソン（株）	・パナソニック オートモーティブシステムズ社
シスコシステムズ（同）	（株）ねぎしフードサービス	日本電気（株）	・松下ホームアプライアンス社エフコンテハ`イ事業部
（株）スーパーホテル	（株）ホンダクリオ新神奈川	パイオニア（株）	（株）リコー
第一生命保険（相）	（株）武蔵野	富士ゼロックス（株）	
トヨタ輸送（株）	（株）ワン・ダイニング		
トヨタビスタ高知（株）			
受賞組織名	受賞組織名	受賞組織名	受賞組織名
（医）川越胃腸病院	千葉夷隅ゴルフクラブ	カルソニックハリソン（株）	万協製薬（株）
（福）こうほうえん	福井キャノン事務機（株）	千葉ゼロックス（株）	（株）吉田オリジナル
（株）J・アート・レストランシステムズ	（福）福井県済生会病院	西精工（株）	
滝沢村役場	福井県民生活協同組合		

（組織名は受賞当時、五十音順）

～日本経営品質賞の審査とは～

日本経営品質賞の審査の特長は、①「日本経営品質賞アセスメント基準書」に基づいて多面的な視点で評価を行うこと、②申請組織の革新に向けた「強み」と「改善に向けての提言」を行うことの2点である。申請組織は、自らの手で経営をセルフチェックし、申請を行う。審査員はチームで、約1,000時間をかけ現地審査を含めた審査を行う。審査の結果は、「日本経営品質賞判定委員会」を経て、「日本経営品質賞委員会」で承認され、表彰組織が決定される。

～日本経営品質賞委員会～

委員長： 福川 伸次	（一財）地球産業文化研究所 顧問・（公財）日本生産性本部 評議員
委員： 飯塚 悦功	東京大学 名誉教授
委員： 加賀見俊夫	（株）オリエンタルランド 代表取締役会長兼 CEO・（公財）日本生産性本部 評議員
委員： 桜井 正光	（株）リコー 特別顧問
委員： 野中ともよ	（特非）ガイア・イニシアティブ 代表理事
委員： 藤本 隆宏	東京大学 大学院経済学研究科 教授
委員： 森 公高	日本公認会計士協会 会長・（公財）日本生産性本部 評議員

～日本経営品質賞 判定委員会～

委員長： 高橋 伸夫	東京大学大学院 教授
委員： 小笠原 泰	明治大学 教授
委員： 玉木 洋	福井キャノン事務機（株） 会長
委員： 校條 亮治	（一社）日本オーディオ協会 会長
委員： 大川 幸弘	（公財）日本生産性本部 理事

（2016年1月27日現在、敬称略）

～歴代日本経営品質賞委員長～

名誉総裁： 寛仁親王殿下
初 代： 佐波 正一 (株)東芝 相談役
第2代： 山本 卓真 (株)富士通 名誉会長
第3代： 佐々木 元 日本電気(株) 名誉顧問
現 在： 福川 伸次 地球産業文化研究所 顧問

(委員長の組織名・役職は就任当時、敬称略)

経営品質協議会について

「顧客価値による経営革新」の実現に向けて、経営品質活動を推進することを目的に、1996年6月に創設された活動推進組織である。

経営品質向上の考え方や顧客価値経営を探究する年次大会として「顧客価値経営フォーラム」を開催している。日本経営品質賞受賞企業や日本を代表する企業の経営者から、顧客視点での優れた経営を発表頂き、ベストプラクティスに学ぶ場である。これまで、14,000名以上が参加している。

本年2月に20周年記念大会として、下記の通り開催する。これまでの経営品質活動を振り返り、今後、さらに経営品質活動を推進させていく場として位置づけている。

【2015年度 開催概要】

統一テーマ：『顧客をみつけ、掘り下げ、価値を実体化する』

日 程：2016年2月18日(木)、19日(金)

会 場：東京ビッグサイト



～経営品質協議会 幹事一覧～

代 表：	森田富治郎	第一生命保険(株) 特別顧問・(公財)日本生産性本部 理事
副代表：	荻田 伍	アサヒグループホールディングス(株) 相談役・(公財)日本生産性本部 評議員
副代表：	橋本 孝之	日本アイ・ビー・エム(株) 副会長
幹 事：	酒井 弘行	有限責任あずさ監査法人 理事長
幹 事：	片野坂真哉	ANAホールディングス(株) 代表取締役社長
幹 事：	坂田 正弘	キャノンマーケティングジャパン(株) 代表取締役社長
幹 事：	廣江 研	(福)こうほうえん 理事長
幹 事：	鈴木みゆき	シスコシステムズ(同) 代表執行役員社長
幹 事：	渡邊光一郎	第一生命保険(株) 代表取締役社長
幹 事：	矢野 薫	日本電気(株) 取締役会長
幹 事：	小谷 進	パイオニア(株) 代表取締役 兼 社長執行役員
幹 事：	登谷 大修	(福)恩賜財団済生会支部福井県済生会病院 病院長
幹 事：	山本 忠人	富士ゼロックス(株) 代表取締役 会長
幹 事：	田中 達也	富士通(株) 代表取締役社長
幹 事：	藤井 秀延	三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 取締役社長
幹 事：	近藤 史朗	(株)リコー 代表取締役 会長執行役員

(2016年1月27日現在、敬称略)

～歴代経営品質協議会代表～

初 代： 亀井 正夫 住友電気工業(株) 相談役
第2代： 牛尾 治朗 ウシオ電機(株) 代表取締役会長
現 在： 森田富治郎 第一生命保険(株) 特別顧問

(代表の組織名・役職は就任当時、敬称略)

医療分野の経営品質活動について

医療分野では、患者満足の上昇や職員満足の上昇や経営の質向上がより求められ、経営品質活動に取り組む医療機関を認証している。さらに認証された医療機関が相互研鑽しながら、継続的に経営の質を高めていく組織として、「日本版医療MB賞クオリティクラブ」と「クオリティクラス評価委員会」を設け運用している。

～クオリティクラス評価委員会～

委員長：	嶋口 充輝	慶應義塾大学 名誉教授
委員：	井原 哲夫	慶應義塾大学 名誉教授
委員：	岩崎 榮	NPO 法人卒後臨床研修評価機構 専務理事
委員：	亀田 俊忠	(医)鉄蕉会 亀田総合病院 名誉理事長
委員：	北川 正恭	早稲田大学大学院 名誉教授
委員：	猿田 享男	慶應義塾大学 名誉教授
委員：	高久 史麿	東京大学 名誉教授・日本医学会 会長
委員：	高梨 智弘	(株)日本総合研究所 フェロー
委員：	増田 宏一	日本公認会計士協会 相談役
委員：	森田富治郎	第一生命保険(株) 特別顧問・(公財)日本生産性本部 理事

(2016年1月27日現在、敬称略)

～JHQCクオリティクラス認証組織一覧～

クオリティクラス/プロフィール認証組織名	所在地	クオリティクラス/プロフィール認証組織名	所在地
相澤病院	長野県	寿泉堂総合病院	福島県
青木病院	埼玉県	昭南病院	鹿児島県
青森慈恵会病院	青森県	洲本伊月病院	兵庫県
朝倉医師会病院	福岡県	聖ルチア病院	福岡県
伊月病院	徳島県	多根総合病院	大阪府
永仁会病院	宮城県	東葛クリニック病院	千葉県
大分岡病院	大分県	長田病院	福岡県
川越胃腸病院	埼玉県	八反丸リハビリテーション病院	鹿児島県
北出病院	和歌山県	福井県済生会病院	福井県
京都武田病院	京都府	横浜病院	神奈川県
湖東老健	秋田県	吉田病院	北海道
小松ソフィア病院	石川県	りょうき歯科クリニック	大阪府

(2016年1月27日現在、組織名五十音順)

～地域経営品質協議会と地域経営品質賞～

地域経営品質賞は延べ286組織が受賞し、そのうち11組織が日本経営品質賞を受賞している。

地域経営品質協議会（計22）	地域経営品質賞（計17）
	板橋経営品質賞（現：いたばし働きがいのある会社賞）
福井県経営品質協議会	福井県経営品質賞＊
新潟県経営品質協議会	新潟県経営品質賞＊
栃木県経営品質協議会	栃木県経営品質賞＊
岩手県経営品質協議会	岩手県経営品質賞
千葉県経営品質協議会	千葉県経営品質賞＊
茨城県経営品質協議会	茨城県経営品質賞
中国経営品質協議会	
会津若松経営品質協議会	会津若松経営品質賞
三重県経営品質協議会	三重県経営品質賞＊
	ひょうご経営革新賞（現：ひょうご優良経営賞）
秋田県経営品質協議会	秋田県経営品質賞＊
関西経営品質協議会	関西経営品質賞
埼玉県経営品質協議会	埼玉県経営品質賞＊
徳島県経営品質協議会	徳島県経営品質賞
鹿児島県経営品質協議会	鹿児島県経営品質賞＊
九州経営品質協議会	
四国経営品質協議会	
高知県経営品質協議会	
中部経営品質協議会	
富山県経営品質協議会	
京都経営品質協議会	
長野県経営品質協議会	長野県経営品質賞＊
東京メトロポリタン経営品質協議会	東京MPECアワード

（知事賞には「＊」をつけております。）

～経営品質活動のグローバルでの展開～

経営品質活動は、グローバルでは100以上の国や地域で展開されている。



GEM/C (Global Excellence Model/Council)

GEM/Cは、米国、欧州、シンガポール、インド、豪州、日本の6地域に、南米のブラジルなどポルトガル語圏とスペイン語圏の2つのネットワークを加えた地域の代表組織が参加し、年に1度の国際会議を開催しています。グローバルな情報センターとして、ポータルサイトが構築されています。